

# とりもどすのではなく『いまの子どもの姿』から ～子どもに寄り添った安心できる学校を～

3月から始まった一斉休校は、子どもや教職員、保護者や放課後児童館の関係者など、多くの人々を混乱と不安の渦に陥れました。休校による子どもたちの学ぶ権利の保障は重要です。でも十分な環境が整っていない中でICTをスタートさせたところでは、先生方の大きな負担を生み、家庭での対応に差を生みました。授業時数を確保することを最優先した結果、学校行事は削られ、夏休みの削減や1日7時間授業が行われている現状です。ICT授業で不登校の児童が学校に戻ったという嬉しい現状の反面、窮屈な学校に行きたくない児童が増えているのもまた現実です。学校での教育活動は3密、濃厚接触がいっぱいです。1つの教室の中でああでもないこうでもない議論したり、頭を突き合わせて作業したり、友だちとくっついてじゃれあったり、時に本気でけんかしたり…。そういう日々の営みで子どもたちは育っているのだと改めて感じさせられました。コロナは子どもたちの大事な成長の営みや、私たち教師が集まって学習する機会も奪っています。奪われて初めて、つながることの大切さを再認識しました。子どもに会えることがこんなにワクワクすることだと気づいた今だからこそ、コロナによる分断に負けることなく、できる方法でつながり、語り合い、子どものために今大切なことは何かをみんなで考えていくことが大切だと思っています。

今こそ少人数学級の実現、教育課程の柔軟な編成、子どもの成長発達に必要な学びの追求、学力テストの悉皆調査の廃止、変形労働時間制導入の中止などを求めています。青森県教組は「学びたい」「変えたい」要求を実現します。

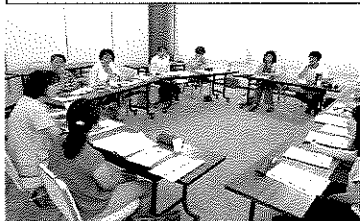


発行所  
青森県教職員組合  
青森市橋本一丁目2-25  
TEL 734-7279  
FAX 777-1440

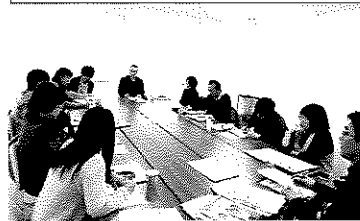
2020. 6. 15  
第1914号



女性部・養教部学習会



特別支援部分科会



事務部学習会



日林示弘平字切切切

つながる!

- 子どもを大切に実践（各地域、全国）を学べる。
- 専門部（女性、青年、障害児、養教、事務）ごとの専門的な学習ができる。
- 実践で困ったとき相談の場がある。
- 子ども理解に役立つ社会情勢を学ぶ機会がある。
- 校種が違う教職員と交流ができる。
- 働き方、学校の制度、ハラスメントなどで「おかしい」と思ったことを相談できる。
- 行政に現場の声を届け、改善に向けて話し合いをすることができる。

集まり、学び、実践し、

あなたも青森県教組へ!

何より仲間がいること力強さと安心感(あなたを一人にしません)

県教育長懇談



春の実践講座全体会



教育のつどい全体講演



# 厚生会からのお知らせ

## 新型コロナウイルス感染拡大に伴う対応について

日頃、本会事業につきましては、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。広報厚生会春季号に掲載のとおり、2020年度に実施を予定しておりました下記文化事業等については、新型コロナウイルスの感染が青森県内でも確認され、拡大傾向にあることから、会員みなさまの健康と安全を第一に考え、中止することにいたしました。なお、その他文化事業等につきましても、今後の状況により中止となる場合がございます。その場合、本会ホームページ等にてお知らせいたしますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

実施日	行 事 名
6月12日(金)	文化教室 「ベビーサインで親子のふれ愛&ママさん同士の育児トーク」
6月27日(土) 7月4日(土)	日帰り研修旅行 「西海岸・十二湖の森と深浦マグステ井を味わう一日」
7月12日(日) 7月26日(日) 8月30日(日)	教育と子どものセミナー 「Q&A 危機管理専門家が語るリスク対策 ～子どもと家族のいのちを守るために～」
7月23日(木) ※海の日	アウトドア体験 「大空に飛び立て! パラグライダー体験 in 大鱈」
8月1日(土)	第51回青森県教職員囲碁・将棋大会
9月5日(土)	第24回青森県教職員ゴルフ大会



<お問い合わせ>

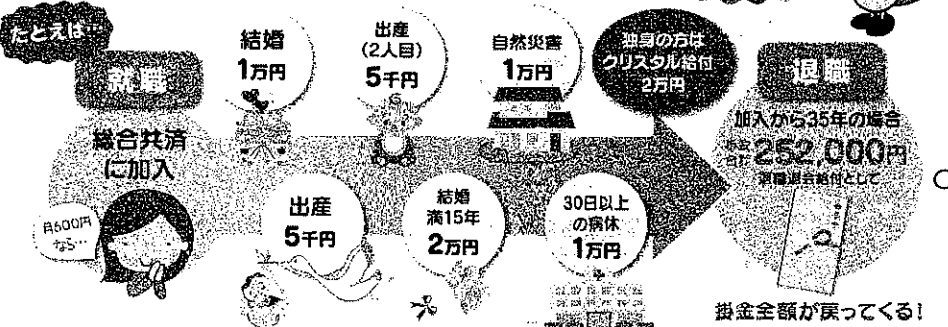
青森県教育厚生会 総務課  
TEL 017-721-1310

# 若い先生ほどお得な共済!

## 総合共済

毎月15日締切、翌月1日加入  
全国の仲間の助け合い

月600円  
の掛金で!



月600円でこんなに給付があって全額戻ってくるなんて! 退職後、豪華な旅行ができてしまいますね。

全教共済  
青森県教職員共済会  
〒030-0823 青森市橋本1丁目2番25号  
TEL 017-732-1375  
FAX 017-732-1376  
E-mail aokyokyosai@educas.jp

# 春闘交渉

2020・6・11(木)  
書記長他2名参加

コロナのため県教委からは文書での回答を打診されたが、30分でも対面での交渉を要求した。30分なので、4項目だけのやり取りになった。

①教員免許更新制を廃止するように国に要請すること。当面令和3年3月31日、令和4年3月31日の終了期限を延長してほしい。

委：教員の資質能力の向上の方策として行われているものなので、法律改正が行われるまでは現行でいく。なお6/5付で文科省から、延長できる旨通知が入り、6/10付で市町村にも通知した。一人一人申請してほしい。組：コロナの影響で更新講習そのものが休止や人数削減で大変混乱している。県教委が一括で延長申請などの措置を取ってほしいが、少なくとも免許の失効がないように、一人一人に延長措置の手続き漏れがないように対応してほしい。

有効期限満了の2か月前までの手続きで延長が可能。令和3年3月31日と令和4年3月31日満了の方は令和5年3月31日まで延長可能。コロナ対応で忙しいと思いますが、講習が受けられない場合、手続きを忘れずに。



県教組書記長

②県が実施している「学習状況調査」を中止すること。市町村ごとの公表をやめること。今年度国の学力テスト中止より早く中止を決めた経緯は？来年度の中止も検討してほしい。

委：基礎基本の定着、学習指導上の課題の把握、すべての学校が児童生徒一人一人の学力を把握するための大事なテストと位置付けている。また実施した以上は結果の公表が求められるものと考えられる。今年度に関しては、3月一斉休校の段階では、学校再開のめども立っておらず、八戸などから、不安の声が多く届いた。県学調は1学期の内容も含まれる。また、子どもの心のケア、5時間分の授業時数確保の点からも重要な調査だという考えは変わらないが中止した。今年度組：中止は良い判断だった。今年度

もかなりの時数が減っている。文科省も遅れば2、3年で取り戻してもいいというっており、来年度の調査も中止を決定してほしい。子どもを第一に考えてというなら、安心して学びを楽しめるようにしてほしい。広島、東京は中止している。

③1年制の変形労働時間制を導入しないこと。

委：文科省から別途条例制定までの留意事項が書かれた通知が来ることになっているので、それが出てから県として考える。

組：この制度を導入するにあたっては、そもそも一か月の時間外在校時間が45時間以内であること、一年間では360時間以内であることとされている。(特別な場合を除き)県の働き方改革プランでは、令和4年までに月45時間達成を目標にしている。つまり、文科省からたとえ通知が出たとしても、県として月45時間以内が達成されていない場合、条例作成ができないというところをどうするか。

委：45時間が守られていることが条例作成の条件である。

組：客観的な勤務時間管理がなされていない市町村もある。また虚偽の報告をしている学校もあると聞く。そのような状態では、とても導入できる状態ではない。

委：勤務時間というのは、しっかりと把握する必要があるものなので現状に即した記録になるように校長がしっかりと話してほしい。正しい時間を記録してほしい。

組：今年度のようにコロナで勤務の状況が読めないことがしばらく続くことが考えられる。変形労働時間制を導入した場合、1度決めた労働時間を変更することはできない。そういう面からも、この制度は導入するべきではない。

④指導方法工夫改善加配を専科教員として要請が可能なことを改めて各校に通知し、教員の持ち時数の軽減につなげること。

委：加配については、各学校から要望されたものを国に要望し、内示があつて加配される。指導方法工夫改善加配は計画以外の用途には使え



県教育委員会

ないことになっている。ただ、文科省が働き方改革の一環で、令和2年から2年間、TTのうち、4000人を専科に振り替えるようになった。

組：4000人ということは青森県で400人くらいということ。小学校の先生方はもう限界。持ち時数が多すぎる。これからも文科省の方に専科として申請できる数を増やすように委員会から声を届けてほしい。

コロナに伴う休校は学校で働く私たちに少しだけ考える時間を与えてくれました。今まで当たり前だと思って実施してきたことの中に、なくなっても困らないことがたくさんあるということ。なくても困らないことは、この際思い切ってなくしてしまうことができれば、多忙が少しでも解消されます。そういう目で学校の教育活動を見直してみると、有限である時間を子どものための時間に、わかりやすい授業をするための時間に使うことができるのではないのでしょうか。こんなことで困っている等ありましたら、ぜひ県教組に、声を届けてください。

## 仕事の「見える化」+成功例の共有 学校で変えられることもある

内田良氏講演資料参照

【集金業務】  
・公会計化

その他にも…  
・校内研のまとめは電子化で  
・作品募集はしない  
・指導要録の簡素化  
・市町村単位の行事をやめる  
・学力テストの中止  
・免許更新制廃止  
・悉皆研修の廃止  
・評価制度の廃止  
・中体連総合開会式中止  
・指定校研修

## 教育は無限、教員・時間は有限！だから…

【運動会・体育祭】  
・午前中のみ  
・練習量の削減

【授業時数】  
・上乗せの授業時数を減らす

【宿題】  
・精選見直し

【登下校】  
・登下校の指導は地域で

【通知表】  
・所見欄の縮小  
・3回→2回  
・総合は单元のみ

